



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

〈本日のプログラム〉

第 412 回 平成 8 年 5 月 31 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「 我等の生業 」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 次 年 度 方 針 会 長 エ レ ク ト
8. 点 鐘

会 長	藤 堂 孝 一
副 会 長	斎 藤 芳 夫
幹 事	福 井 輝 文
会 計	中 武 靖 雄
会 務 員 長	垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ
 例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
 例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015
 事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-9
 佐土原町建業協会内
 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

第 4 1 1 回例会記録

(1996. 5. 24)

☆会長の時間

藤 堂 孝 一 君

皆さん今日は、本日は第411回例会です。5月19日(日)に鹿児島市で開催されました第2730地区協議会には、16名の方にご出席いただきまして誠に有り難うございました。前泊のホテルの予約からレンタカーの手配並びに往復の運転に至るまで引き受けていただきました吉田康一郎会員には本当にご苦労さまでした。厚く御礼申し上げます。

地区協議会での研修の成果でしょうか、皆さんがすっかりロータリアンそのものになりきって、感動的に1時間ほど今回の地区協議会について、熱気に溢れた談論を帰途の車中で展開されましたことは、いまだない大変な盛り上がりを感じました。

正岡会員増強委員長が所用で出席できませんので、新入会予定者山本民生氏のご略歴を紹介させていただきます。

氏 名	山本民生 ^{ひみよ}
生 日	昭和22年5月13日生
本 籍	佐賀県杵島郡北方町大字芦原 3010番地
住 所	宮崎市大字島之内7262-12
学 歴	佐賀県立武雄高等学校卒業 亜細亜大学経済学部 経済学科卒業(昭46.3)

職 歴	東急観光(株)入社(昭46) 本社総務部勤務
同 上	北九州支店営業課 へ転勤(昭46)
同 上	宮崎支店営業課へ 転勤(昭54)
同 上	宮崎支店営業課長 にて退職(平成6)
(有)宮崎トラベル・サービス を設立	(平成7年3月)
現 職	(有)宮崎トラベル・サー ビス代表取締役社長
ご家族	薫夫人(昭和24.1.14生) 長男・長女
結婚日	昭和50年1月23日
趣 味	ゴルフ・ドライブ

先週の例会にご出席いただいた際にお聞きしましたところでは、海外団体ツアーの中にロータリアンがおられて、外国のロータリークラブ例会にメイクアップがしたいと申し出があった場合、例会場に赴いていろいろと世話をされたご経験を持っておられます。その点でもロータリーに関して、山本氏は私どもより大先輩であり、国際的な話題も豊富な同氏のご入会は楽しみであります。本日の例会終了後に理事会を開いて、山本氏のご入会の手続きを進めたいと考えます。

☆幹事報告

福 井 輝 文 君

1. 例会変更通知は来ていません。
2. 第2730地区協議会で、藤堂会長と私は「国際奉仕・米山奨学部会」

に出席しました。その中で大坪委員長より、今回は3名ほど青少年交換を予定しているが、高校1年生の時に申請書を提出してもらい選考して、2年生になってから交換派遣するのが望ましいのではないかと思う、との発言がありました。

交換ですから、派遣先の地区から高校生の年齢層の学生を受け入れなければなりません、そのような機会がありましたら、申し込んでいただきたいと思います。

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	33名
H C 出席者数	26名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	78.8%
メイクアップ者数	4名
修正出席率	90.9%
欠 席 者 名	垂水・井下・柳田

本日のビジター

西都RC 宇治野 稔君
" 高山隆憲君

☆第2730地区協議会に参加して
林 厚雄君

初めての地区協議会参加でした。クラブ奉仕部会に出席しましたが、会社で言えば社員教育のようなもので、ロータリーの本質、目的等についてじっくり聴かされました。まとめて言いますと、自分を磨くためにロータリーに入会し、家庭環境、地域、職場の人達にもロータリー

への理解を深めてもらい、より良き社会の構成員となっていただくために、ロータリアンとしてお互い頑張っているのだということをお教えされました。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

恒吉正志君

私は『社会奉仕部会』に出席しましたが、ロータリーの社会奉仕の理念に関して池田卓郎カウンセラーから、1923年国際大会で採択された決議23-34及び、1992年国際大会で追加された決議92-286の説明がありました。

この決議内容については、十分勉強してから、改めてご報告したいと考えています。

次年度に麻薬撲滅運動基金の募金が早速計画してあります(6月22日~7月21日)ので、その節はよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

赤木達也君

宮原会員と共に『幹事・会計部会』に出席させていただきました。カウンセラーから、幹事・会計の重要性についてお話がありましたが、要するに会長と幹事の連携、各委員会が活発に活動できるための援助・サービス、また、委員会が独自性を持ちながら進めるように連携は保つが深入りはしない、といった基本的な姿勢についての教示でした。「四つのテスト」を基準にして行動することが大切であると結ばれました。さらに、前年度の運営方針等を継承していくことは重要な柱であるが、簡素化すべき点は是正し、変化・創造する心構え、アンビシャス・ドラマティック・情熱が要素であるとの感銘深いお話がありました。

濱田松太郎君

『ロータリー財団部会』出会報告をいたします。従来、ロータリー財団活動分野は8項目でしたが、次年度から7項目になります。

- (1) 年次寄付
- (2) 財団情報
- (3) 財団奨学金
- (4) 財団学友
- (5) 基金寄付・大口寄付・同額補助金
その他
- (6) G. S. E.
- (7) ポリオ・プラス

ポリオ・プラス寄付金は2億ドルほど剰余金があるとのことで、2005年までに世界中からポリオを絶滅させようとの計画です。この事業は継続しますが、寄付金の募金はしないそうです。

G. S. E. の選考条件は、

- 1) 居住する国の国籍を有していること。
- 2) 申請時に有給の仕事に就き、推薦するロータリー地区に居住しているか雇用されていること。
- 3) 健康で、容姿も見苦しくなく、自分の意見を明確かつ理論的に述べることができること。
- 4) 堅実で一般教養を身に着け、知性が豊かであること。
- 5) 英語が話せること。

次年度は、イングランドの第1250地区のGSEを受け入れることになっています。

ロータリー財団寄付金は佐土原RCが地区で第1位ですが、次年度もそれを維持していくように頑張りたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

池田仁志君

私は、梶田・林会員と一緒に『クラブ奉仕部会』に出席しました。

クラブ奉仕委員会の役目を樹木に例えて説明がありましたが、樹木の根の部分が各委員会で、委員会の委員長を取りまとめるのがクラブ奉仕委員会である、従ってクラブ奉仕委員会の構成メンバーは各委員長である。その根がしっかりすることによって、葉の部分である職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕活動がきちんとできる。クラブ奉仕委員会は、樹木を育てる根をつくる重要な役割がある、ということでした。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

松田清隆君

『広報・雑誌部会』に出席させていただきました。その中で、ロータリアンを目指すのであれば、是非「ロータリーの友」を熟読して欲しい、ということでした。

「ロータリーの友」レビューに似たものを、各クラブでつくってみてはどうか、また、参考になることなどがあれば、是非「ロータリーの友」に投稿してもらいたいとの要望がありました。「ロータリーの友」英語版購読の依頼もありました。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

吉田康一郎君

『職業奉仕部会』の出席報告をいたします。鹿屋RCの方から情報提供がありましたが、鹿屋中学生を対象にして前年度の夏休みに、それぞれの鹿屋RC会員の職場で体験学習をしてもらったということです。このような職業奉仕の在り方も参考にして、次年度の当クラブの職業奉仕を推進したいと考えています。(続く)